

事務事業名	道の駅「にのみや」管理事業			担当	産業部 農政課 園芸畜産係			
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			増補版施策名			
施策名	1	農業の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠	管理方法及び管理に係る費用の負担に関する協定				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成9年度～）			
予算科目	1. 一般会計	6. 農林水産業費	1. 農業費		4. 園芸特産費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	道の駅の管理方法について、道路管理者の栃木県と管理方法に関する協定を締結し、休憩所、トイレ、駐車場の清掃や植栽への灌水、除草、草花の手入れ、ごみ箱のごみ袋取り替え、ごみの収集、その他維持に関することを実施している。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 31年度実績 休憩所、駐車場及びトイレの清掃・除草業務、電気自動車用急速充電施設の管理等の維持管理業務を管理 2年度計画 休憩所、駐車場及びトイレの清掃・除草業務、電気自動車用急速充電施設の管理等の維持管理業務を管理	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	駐車場面積	平米	7,860	7,860	7,860	7,860	7,860
	イ	休憩所棟数	棟	1	1	1	1	1
	ウ	公衆トイレ棟数	棟	1	1	1	1	1
エ	植栽面積	平米	2,921	2,921	2,921	2,551	2,551	
オ	電気自動車用充電施設	機	1	1	1	1	1	
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 道の駅「にのみや」	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	敷地面積	平米	14,742	14,742	14,742	14,742	14,742
	イ							
	ウ							
エ								
オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 快適に利用できよう施設の維持・管理を行う。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	施設管理面積	平米	14,742	14,742	14,742	14,742	14,742
	イ							
	ウ							
エ								
オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 安心して自由に立ち寄れる快適な場所を提供する。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	きれいな街と感じている市民の割合	%	75.9	78.1	80.9	80.9	80.9
	イ							
	ウ							
エ								
オ								
(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	4,568	4,934	4,421	0	0	
	事業費計(A)	千円	4,568	4,934	4,421	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	2	0	0
		延べ業務時間	時間	72	72	72	0	0
		人件費計(B)	千円	299	299	300	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	4,867	5,233	4,721	0	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成9年に道の駅「にのみや」が開設され、道路管理者である栃木県と管理方法に関する協定を締結したことによる。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成21年に建物の増改築があった。 平成24年度に電気自動車の充電施設が設置された。 平成26年度より、道の駅を地域振興や防災拠点として利用するよう国から要望されている。 平成30年度より、建設課から農政課に所管替えとなった。 令和元年度より、維持管理業務の委託を廃止し、指定管理費用内で実施することとなった。 令和元年度には、二宮尊徳物産館のリニューアル及び臨時駐車場を整備した。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	